

附属幼稚園だより 第17号

令和3年 1月12日発行 文責：室野 亜津子

「したい 知りたい やってみよう」が
いっぱい幼稚園

新しい年が始まりました

本年もどうぞよろしくお願いいたします。令和3年が皆様にとって、健康で穏やかに過ごせる良い年になりますようにとお祈り申し上げます。



分散型もいいね

冬休み前の会を分散型で行いました。「式」ではなく「会」にすることで、学年・学級ごとの年齢に応じた進め方や話ぐできましたので、これもよかったと思います。

年長児は遊戯室で行いました。修了証書授与式を見越して、椅子を並べ、園長の話を取り入れました。「聞くこと」について話をしましたが、立派な態度で少し長い話を聞くことができました。

いつもの式なら、対象が年少児から年長児までいるので、どうしても易しい話になってしましますが、今回のように年長児だけなら、その学年に絞った話ができます。

年明けの会は年中児に向けて話をしました。「もうすぐ年長さんバッジ」(見えません)を胸につけて過ごすのだという話です。

後期後半、どの学年も仕上げの時期です。進学、進級に大いに期待をもたせ、育ちを支えていきたいと思います。

気を引き締めてコロナ感染予防

長崎市とその近郊の感染者数もまだまだ減りません。感染予防として幼稚園の中で他にすべきことはないかを見直しました。そこで、当分の間、以下の2点を変更いたします。

歯みがきを中止します

コロナウィルスは飛沫感染します。食後の歯磨きをしないで虫歯になる可能性と、限られた水道で歯みがきをして飛沫が飛ぶ可能性とを天秤にかけたとき、飛沫防止の策を取ることにしました。御家庭でしっかり歯磨きをお願いします。

靴箱の上のメモ用紙を撤去します

同じ鉛筆を使うこととなりますので、念のため。連絡は御家庭でメモに書いてご持参ください。また、写真の申し込み用の筆記用具も各自御準備ください。なお、写真の申し込みをウェブでできるようにただ今交渉中です。